



MESSAGE NOTES

工事中の人生

2 ペテロの手紙 3:18

ロイド・フラハティ

アントニ・ガウディがバルセロナにあるサグラダ・ファミリア大聖堂の建築を始めた時、自分は完成を目にすることはないと分かっていました。この未完成の大聖堂は私たちの人生も工事中だということを思い出させてくれます。私たちはまだ完成していないのです。イエス様と顔と顔を合わせて会う日まで、日々成長していくべきなのです。

1. イエス様と顔と顔を合わせて会えるまで成長する

1 コリント人への手紙 13:12 「今、私たちは鏡にぼんやり映るものを見ていますが、そのときには顔と顔を合わせて見ることになります。」

その日まで、主の愛と恵みで形造られ、成長し続けるのです。

2. 未完成でまだ成長中

私たちは生きている限り成長し続けるべきなのです。

成長とは、単にイエス様についての情報を増やすのではなく、イエス様との関係を深めることです。

3. 全ての側面が神様の栄光を指し示す

2 ペテロの手紙 3:18 私たちの主であり、救い主であるイエス・キリストの恵みと知識において成長しなさい。イエス・キリストに栄光が、今も永遠の日に至るまでもありますように。

ガウディの大聖堂の細部が全て神様へ向けられているように、私たちの成長も、周りの人にイエス様を指し示すものであるべきです。私たちが神様の愛の中で成長するにつれ、私たちの言葉や行動の中に神様が見えるようになってくるのです。

まとめ:

サグラダ・ファミリアは 140 年以上*経った今でもまだ建築中です。それでも世界中の人々の注目を集め続けています。それは完成したからではなく、未完成でも美しいからです。

キリストにある私たちの人生も同じです。私たちは主なる建築士に造られ続けています。毎日、神様は私たちに更なる信仰、愛、親切さ、寛容さ、自制を加えて下さっています。

(サグラダ・ファミリアの建築は 1882 年に始まりました。)